



市民大学 いよいよ開講!

「北上市民大学」は、市民のための学びの場です。歴史や環境、現在日本が抱える問題など、さまざまな分野について学びます。新しいことを始めたい人、知識や見聞を広げたい人など、たくさんの方の参加をお待ちしています。

第1回 花火を10倍楽しむ方法

〜大曲の花火で育った伝統の技と最新の発想の新型花火〜
講師 株式会社北日本花火興業
代表取締役 **今野 義和 氏**

●とき：6月30日(木)午後7時〜8時(開講式は午後6時30分)

●講師略歴：昭和61年、今野煙火製作所入社、平成2年、北日本花火興業専務取締役、21年同社代表取締役、現在に至る。

●講師から皆さんへ：きれいだ、すごい、楽しい、だけで花火をご覧になってはいませんか? 感動へと導く花火のエネルギーについてお話しします。



北上のまつりでも榊北日本花火興業の花火が打ち上げられています

第2回 不思議な運命

〜私の従軍記〜
講師 元江釣子中学校校長
小田島 源之助 氏
(北上市在住)

●とき：7月14日(木)午後6時30分〜8時

●講師略歴：昭和15年、岩手県立青年学校教員養成所卒業。17年〜20年8月、軍隊生活を送る。その後教職に復帰し、56年、江釣子中学校校長を最後に退職。同年4月、在学青少年指導員、60年退職。

●講師から皆さんへ：自慢話ではなく、多くの戦友への鎮魂の気持ちです。日本の今日を思うとき、胸に迫るものがあります。

【第1回・第2回共通】

- ところ：生涯学習センター・第1学習室
- 聴講：北上市民大学は6〜12月までの連続講座ですが、その都度の聴講もできます(第7回移動学習は除く)。事前の申し込みは不要ですので、開講日に直接会場へおいください。
- 聴講料：1回500円(当日会場で徴収)

サトウハチロー記念第14回「おかあさんの詩」全国コンクール 作品紹介【中学生以下の部 最優秀賞】

「ママおきやくさんだよおー」
愛知県西尾市立中畑小学校
1年 中村 駿介

ぼくには、おしごとがあります。それは、ママにおきやくさんがきたことを、おしえることです。おきやくさんがくると「ママあーつおきやくさんだよおー。」って、おきやくさんで「ばんにおしえてあげます。ママはすごいよこんでくれます。」

「ありがとうね。」
「しゅんがいるとたすかるな。」ってここにこしていつてくれます。そうするとぼくもうれしくなっちゃう。これからも、おしえてあげるからね。

「しゅん、たのむねー。」っていいいます。だから、まかせといてねっておもいます。ぼくは、だいすきなキックボードやサッカーをやりながら、おきやくさんがくるのを、みはっています。

サトウハチロー記念第15回「おかあさんの詩」全国コンクール

9月6日(火)まで作品募集中 ●問い合わせ：芸術文化係(☎64-0500)

みんなで守りましょう! 「北上っ子5つのやくそく」

親子や地域全体で取り組むために市で定めた「北上っ子5つのやくそく」。皆さん守っていますか? この約束は子どもだけでなく、大人も一緒に取り組むことに意味があります。

家庭や地域で取り組んでいることで紹介したい事例がありましたら社会教育係(☎61-3231)へ連絡ください。

今後も皆さんの取り組みを広報紙で紹介していきます。

市で作成したポスターに若干人数あり。必要団体などは連絡を

みんなで守ろう! 親子や地域で取り組もう!

北上っ子5つのやくそく

- 自分から明るく笑顔であいさつをします
- すなおな気持ちで「ありがとう」「ごめんなさい」を言います
- 家族の一員として進んでお手伝いをします
- 物を大切に整理せいとんをします
- 目標に向かってねばり強くチャレンジします

※市教育委員会では、平成28年度より、市内各地域に設置している「児童発達支援センター」において、発達障害のある児童の学習支援を行っています。発達障害のある児童の学習支援は、発達障害のある児童の学習支援を目的として行われ、発達障害のある児童の学習支援を目的として行われ、発達障害のある児童の学習支援を目的として行われます。

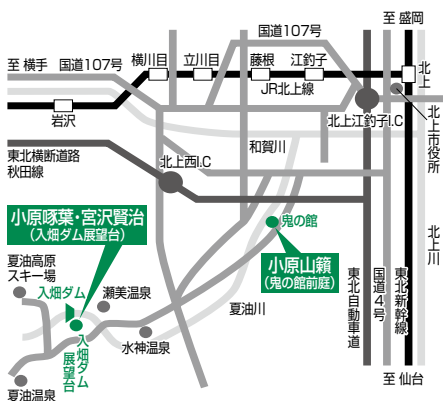
市内の文学碑を巡ってみませんか？

現在、市内には数々の詩歌が刻まれた50基ほどの句碑や歌碑などの文学碑があります。

その中から、和賀町岩崎、岩崎新田方面に建てられている文学碑を紹介いたします。

鬼の館の前庭に1基、入畑ダムの展望台に2基あります。新緑の季節、初夏のすがすがしい風を受けながら、文学碑を巡ってみませんか。先人が旅した足跡がしのばれ、文学に満ちた時が穏やかに流れていきます。

生涯学習文化課、日本現代詩歌文学館では、文学碑の案内書「きたかみ文学散歩」を販売中（1冊400円）。冊子を片手に、多くの文学碑に触れてみるのはいかがでしょうか。



宮沢賢治の碑。「冬のスケッチ」の一部を文語詩に改作した未定稿の詩。展望台から眼下に望む景色も格別



小原啄葉の碑。「万緑や壺中の天に鶯一つ」と、自筆の筆跡が刻まれています



小原山籟の碑。「鬼剣舞素手の踊りとなりけり」小原氏は旧和賀町助役を勤めました

一緒に体験！ポーンスカウト北上第5団

市教育委員会では、青少年の健全育成を目的としている市内の社会教育団体の活動を支援しています。今回は、飯豊地区を中心に活動している日本ボーイスカウト岩手連盟北上第5団の田植え体験（5月28日）の取り組みを紹介します。

この取り組みは、地域の人と触れ合いながら農作業の厳しさを学び、食べ物を大切にすることを育むことを目的として開催し、今年で7回目になります。

当日はあいにくの雨でしたが、はだして田の中に入った子どもたちは、泥の感触に大はしゃぎ。なかなか前に進めず悪戦苦闘しながらも、指導者のアドバイスを受け、もち米の苗を丁寧に植えていきました。

10月は収穫体験、11月は飯豊町



指導者に教わりながら苗を植える子どもたち「昨年よりも上手にできた」



尻もちもこれまた楽しい

文化祭で米を販売し、売上金の一部を被災地へ。12月は餅つきを予定。

「机に向かっただけの勉強だけでは学べないものがここにある」と柏葉信子同団委員長。学校や家庭ではなかなかできない体験を、自然の中で異年齢の仲間と行うことで、子どもたちの純粋な好奇心や探求心に応え、心身ともにバランスの取れた人格形成を目指しています。

同団では、随時団員（男女問わず、年長く中学3年）を募集中。興味のある人は、同団事務局長齊藤順子さん（☎090-3648-19906）へ。
※子ども会など青少年健全育成の取り組みで広報紙で紹介したい事例がありましたら、社会教育係（☎61-3231）へ連絡ください。

生涯学習センター休館日

7月20日(水) 毎月第3水曜日は休館日です。